

# あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会  
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 高草木 悟  
編集人 飯田 博久

〒379-2166  
群馬県前橋市野中町361番地2  
(群馬県勤労福祉センター2F)  
TEL 027-263-0555  
FAX 027-261-0549  
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp  
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2016年4月号  
No.246

## 組織拡大学習会開催

## 1000万連合実現に向け

3月30日に太田市浜町勤労者会館、4月6日には高崎市労使会館にて組織拡大学習会を開催し、産別・地協役員など延べ90名が参加しました。

冒頭、小島会長代行より「労働組合の役員は強気を挫き、弱気を助ける“月光仮面”のように活躍してほしい。自分の企業や組合さえよければ良いとの考えではなく、身近に労働組合がない組織で働く人が困っていれば目を向け親身に対応して欲しい。」と挨拶がありました。

はじめに、二宮誠中央アドバイザーより組織拡大オルガナイザーの基本について、続いて、自治労群馬県本部・田口保彦組織対策アドバイザー及びヤマダ電機労働組合・三浦広和書記長より組織化事例報告がありました。

### 労働組合のメリットの 求めていることを探し出す 押し売りではなく

二宮中央アドバイザーより、労働組合の組織率が17%しかない状況を踏まえ、数で言えば労働組合が訴えても政府には届かないのが現状。労働組合ができた歴史は、貧富の差から『同一価値同一賃金』を訴えることから始まった。歴史を認識し、役員になった以上は、情熱を最大の武器として、労働組合のメリットを訴えるのではなく、相手の訴えや求めているものを見つけ信頼関係を生むこと。オルガナイザーとして一人でも多くの仲間を増やして活動を進めて欲しい。と熱意のこもった講演をいただきました。



### 非正規労働者を多く組織する組合の組織化

田口アドバイザーより、自治体においては非正規が約4割であることを踏まえ、「ものの言える少数の正規、ものが言えない多数の非正規」でバランスに欠いた組織となっている。非正規職員に対するアンケートをしても集まらなかったが、そもそも“労働組合の組織や活動が分からない、顔も見えない。”当然のことである。非正規を組織する労働組合立ち上げには1カ月で2000km以上を走り、顔を見せ、非正規労働者の声を聞いて理解を得る中で結成をされたことを話され、私のスタイルは手間を惜しまず、現場に出向いていく『歩いてなんぼ』。これからも



コミュニケーションを大切に進めていきたい。と話されました。

三浦書記長からは、ヤマダ電機は全国で店舗を構えており、正規が約3割弱の中、組合からの情報発信も末端になかなか伝わらない。非組合員であった非正規からの相談を、会社側に伝えるものの、意見にとどまり難しい点が多かった。と苦労を話され、過半数組合の重要性について、分会長への意識づけを行い非正規労働者の組合員化について実例を基に話されました。



～すべての働く者の処遇を改善！

「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現を！～

### 2016春季生活闘争中小労組決起集会

3月25日、高崎市内にて2016春季生活闘争中小労組決起集会を開催し、149名が参加しました。

集会では連合本部の安永貴夫副事務局長から、「先行組合は昨年水準を下回るものの、3年連続で月例賃金を引き上げることができた。また本日発表の集計結果では300人未満で614組合から回答を得ているが、大手に比べ昨年を上回る水準で奮闘している。すべての働く者の処遇改善を果たすことが消費拡大、経済の好循環、来年の賃上げに繋がっていく。まさにこれからが勝負。連合は社会に波及すべく様々な発信していく。」との情勢報告を受けました。

続いて中小労組代表・杉田支部執行委員長（太陽誘電労組江木支部）から「賃金の底上げ、格差是正の改善は、将来働く若い人たちが地元の中小企業で働きたいと思ってくれることで地域や企業の発展に繋がる。こういう側面も訴えながら交渉を続ける必要性を感じている。」新後閑執行委員（のぞみの園労組）からは「障害者も当たり前のよう、働く企業の仲間として受け入れ、企業側も障害者雇用に是非とも理解を深めていただきたい。」と、今春闘を最後まで闘い抜くとの力強い決意が表明された後、参加者全員でアピールウォークを行い、世論喚起を図りました。

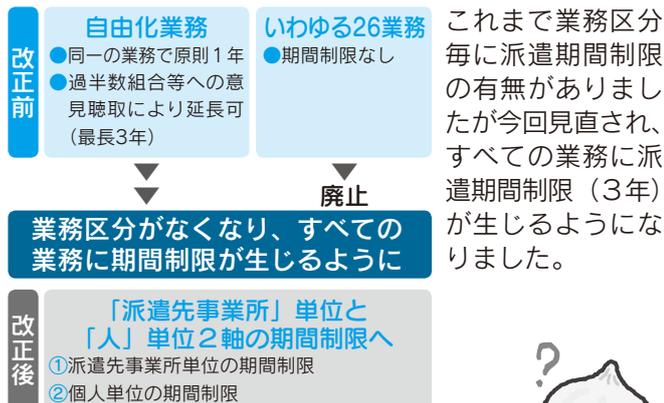


# 何が変わったの？ 改正！労働者派遣法

## 労働者派遣法が改正？されました

2015年9月30日に成立した改正労働者派遣法ですが中身が良く分からないことだらけ。また課題もたくさんあります。派遣労働者の方の雇用の安定と処遇改善のため労働組合として何が出来るかについて、一例を取り上げて考えてみたいと思います。

### 派遣可能制限が見直されました。



でも人を入れ替えるか、職場を変えることでずっと派遣のままになる可能性が...



## 労働組合として出来ること！

### 派遣可能制限の見直し

- 派遣労働者の受け入れ時、期間制限到来時に交渉・協議の協約化・ルール化を！
- 意見聴取での反対意見が取り入れられなかった場合、派遣労働者の正社員としての雇い入れや、延長する期間の短縮を求めましょう！



派遣労働の拡大を防止するため、労使協議の場において、派遣労働者の受け入れ時、また期間制限到来時のルール化や正社員としての雇い入れの促進について求めて行く必要があります。

## 連合群馬も取り組んでいます！

### 改正労働者派遣法学習会開催

4月9日、県勤労福祉センターにおいて、群馬労働局より石井需給調整室長を講師としてお招きし、昨年10月に施行された「労働契約申込みみなし制度」を含む改正労働者派遣法の改正点について学習しました。

連合総合労働局作成『改正のポイントと労働組合の取り組み』では労働組合のチェックポイントが記載されています。お問い合わせください！



## 次の世代への継承を視野に 平和学習会を開催



4月9日、県勤労福祉センターで平和学習会を開催し、構成組織・議員懇131名の他、「北方領土を考える群馬県教育者会議」の中学生・高校生20名の計151名が参加しました。

今日、日本では戦後生まれが8割を超え、戦争の体験を伝える語り部も高齢化が進む中で、平和への思いを次の世代に伝えていくため、また、例年組合員の皆さんにご協力を頂いている北方領土返還要求署名の取り組みが、なぜ必要なのかを学ぶため「北方領土を考える群馬県教育者会議」の協力を得て開催しました。

学習会では、語り部の証言を収録した連合製作のDVDを上映し、映像を通じて被爆者から原爆投下直後の広島の様子を聞いた他、昨年の連合平和4行動への参加者から体験報告を頂き、平和行動への理解を深めました。

また、70年経っても解決されていない領土問題について改めて考えるため、実話をもとにソ連の占領に伴い激変した島民の暮らしを描いた映画「ジョバンニの島」の上映を行い、平和への思いとふるさとに帰れない島民の思いを共有しました。

## 2016連合群馬ふれあいフェスティバル 『地域の力は暮らしの活力』

地協名	時間	会場
桐生	10:30~15:00	笠懸野文化ホール（パル）
太田	10:00~15:00	太田市新田陸上競技場
館林	10:00~15:00	明和町ふるさとのお広場
西部	10:00~15:00	富岡小学校&体育館
北部	9:00~15:00	渋川スカイランドパーク
前橋	10:00~15:00	前橋公園 （みどりの散策広場）
高崎	10:00~15:00	もてなし広場
伊勢崎	10:00~15:00	あずま総合運動公園 多目的広場



昨年の様子

連合の政策実現!

# 「政策・制度要求と提言」の成果…



【連合の政策実現】について、今回は、「政策・制度要求と提言」を提出したことによる結果の検証（成果や予算への反映実績）などについて解説します。…シーズン3

POINT

## 提言項目は継続して取り組み、3項目が“前進”と評価!

**今**回は県からの回答や予算の状況についてお話しします。

8月に提言した、県からの文書回答による取り組みや考え方を確認するとともに、3月議会で示された予算措置を踏まえ、我々の提言・要求がどのように反映されたかを“評価”として取りまとめをし、再度、群馬県に対し提出を行います。加えて、県当局との意見交換を通じ、我々の思いを伝えるとともに、行政運営への参考として取り組みを継続していきます。

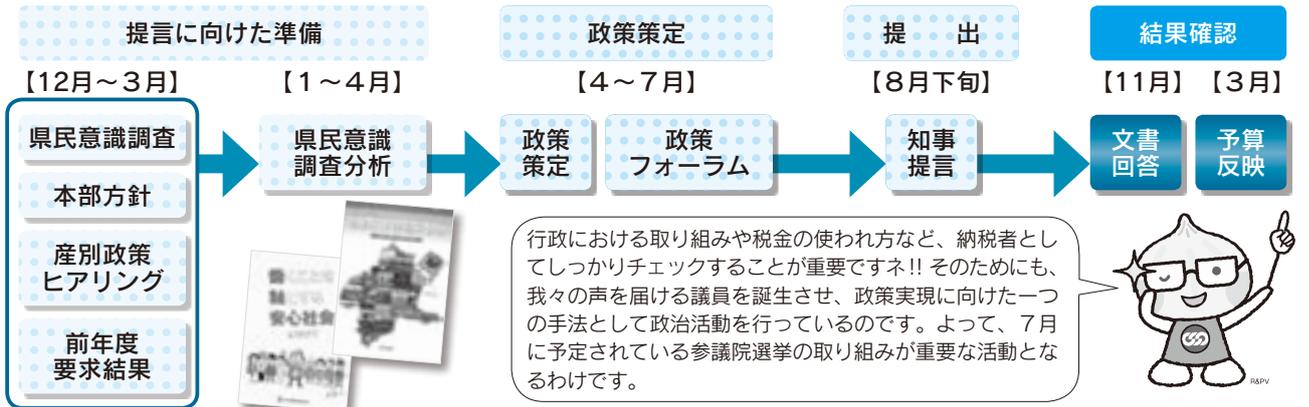


回答の評価を確認する「政策委員会」

**政**策提言は、単年度で実現するものは少なく、評価結果を基に、①継続的に要望するもの、②県議と連携し経過を観察するものに精査し、次年度の要求に繋げています。

昨年度の要求の継続課題として、**本年度は9項目を提出し、3項目について前進**と評価しました。

例えば、実効的な雇用対策の充実として求めた「Gターン(群馬で就職を促進)クラブを活用した若者が活躍場の確保」に対して、『地方創生加速化交付金』を活用する中で、若者を呼び戻すための各種施策が展開されており、評価できる。一方で、非正規雇用や離職率が高く、地域活性化にはつながらないといった課題もあり、引き続き行政支援を求めています。



### 女性目線で政策実現へ

## 加賀谷県議「子育て施策」

### 一般質問

3人の子を持つママさん議員



Q 人口減少社会について、私の周りのお母さんは、もう一人子どもが欲しいと思うけれど迷うことがある。原因として①仕事と子育ての両立、②子育てにお金がかかる。この2つを考えると“もう一人”は考えてしまう。群馬県としての人口減少社会に関連して子育て施策について聞きたい。

A 県政の重要課題として、群馬県版総合戦略に「群馬で家族を増やしたくなる」を基本目標として結婚・妊娠・出産と子育ての切れ目ない支援を主要施策として

保育施設の充実、金銭的負担軽減など位置づけて行っていく。群馬県では28年度より「こども未来部」を設置し総合的に推進する体制を取っていききたい。

Q 子育てでは、兄弟や姉妹がインフルエンザに連続してかかり、2週間以上会社を休まなければならない状況がある。家庭で見られることが優先ですが勤務環境によっては難しい。病児・病児後保育ならびに子ども子育て新制度の内容について聞きたい。

A 各事業では市町村の要望に基づき、病児・病児後保育62施設から76施設、一時預かり事業235施設から336施設などの予算拡充を行っている。これからも市町村との連携強化を行い、財政支援をしっかりとっていききたい。

(2月29日 一般質問より抜粋)

※議会で中継は群馬県HPから閲覧できます

# ユニオンガール'S TALK

No 1

## 新後閑 美保さん

連合群馬 執行委員  
連合群馬女性委員会 委員長  
独立行政法人国立重度知的障害者総合施設  
のぞみの園労働組合 執行委員



### まずは参加して！情報収集からつながる

はじめまして、ユニオンガール'S TALKへようこそ

#### ーお名前が珍しいですね

よく読み間違われます（笑）。高崎市には「<sup>しごかまち</sup>新後閑町」という小さな町が上信電鉄の南高崎駅付近にあるんですよ。私も高崎市出身です。先祖はそちらの出身だったと聞いたことがあります。名前といっしょに是非覚えてもらい、声をかけて下さい。

#### ーどんなお仕事をされていますか？

国立のぞみの園は、重度の知的障害者に対する自立のための総合的な支援をしています。障がい者の企業への就職を目指していますが、結びつきが難しい方には施設内で就労していただき、しいたけ栽培をして高崎市内のスーパーに出荷をしています。こういった福祉的就労のサポートをしています。

#### ー組合役員になられたのは？

単組の執行委員になって約9年になります。以前から組合の執行部として熱烈なオファーがありましたが、当時、出産を控えており、公私ともに忙しい時期でしたので、長女が小学1年生になったのを機に執行委員として加わるようになりました。

組合活動をしてみると、特に団体交渉では自分たちの要求が少しずつ形になっていく。プロセスや結果が反映されているのがとても勉強になり、やり甲斐もあります。

#### ー女性委員会委員長に就任して5カ月が経ちますが？

昨年12月の総会で委員長に就任しました。幹事の経験は3年ほどありますが、委員長としてはまだ数カ月。たくさん不安もありますが、先日の国際女性デー群馬県集会で沢山の女性の仲間とともに、女性の働く権利を求めて世論喚起ができたことは、私としても大変有意義なものでした。女性委員会の活動ではたくさんの横のつながりもできて、情報収集もバッチリです。

#### ー仕事と家庭の両立は どうですか？

職場では若い層の組合員も多く、特に、変則勤務の職場もあり、仕事と家庭の両立について、不安を抱えて働いている女性組合員も多く傾聴を大切にしています。

私は恵まれており、両親と暮らしていますので父と母に頭があがりません。家族の手助けが必要ですね。とても忙しい中ですが、剣道部の長女中学3年と陸上クラブに通う長男6年生の試合観戦や送迎が今は楽しい時間です。

#### ーこれから活躍する女性組合役員へ抱負

変則勤務の執行部の予定を合わせるのも難しく、実は組合で続けていた「バザー」が一時途絶えていました。東日本大震災を機に復活したときは、執行部が一丸となってやり遂げることができ、大きな達成感を味わうことができました。女性委員会の活動もそうですが、参加することで“本質”がわかり、つながりが“本当の財産”だとわかりました。まずは組合の行事や活動に参加して、人とのつながりを財産にして欲しい。

#### ー最後にひとこと

5月19・20日には全国一斉働く女性の労働相談ダイヤル「STOP!セクハラ パワハラ マタハラ」を実施します。女性委員会が相談対応を行います。労働相談の心構えなど、実践で活躍できるよう猛勉強中です。知人や家族が困ってしましたら、ぜひ気軽に相談してほしいです。



施設内で  
しいたけ栽培中

今号より女性役員の紹介を  
始めます。自薦他薦は問いま  
せん。わか組合自慢の“女性  
役員さん”をご紹介します。

Listener 吉田 香苗



〜安心して働きたい・暮らしたい団へ  
【地協活動について】

早いもので私が再雇用され太田地協に赴任してから3年が経ちました。私は地協専従者として太田を起点に主に東毛地区を担当し、この間、日常的な活動のひとつとして機関紙等を持ちながらの各単組への訪問活動や地域で働く方からの労働相談の対応などをしてきました。また、地協活動の中でも最も大きなイベントである連合群馬ふれあいフェスティバルの開催に向けては、構成組合はもとより企業、ボランティア団体、保育園、幼稚園など各種団体の皆さんに参画して頂けるように日頃から連携強化や情報収集に努めています。これからのフェスティバルを更に盛り上げるためにも、連携する組織の幅を広げていきたいと考えておりますので、皆様からの紹介も宜しくお願い致します。

連合群馬では地域での労働運動を拡げるための世論喚起行動として、車を使つての街宣行動をおこなっています。街宣の内容は労働相談のPRや暮らしの底上げ・底支え・格差是正の実現に向けた訴えなど様々…街宣中は、どれくらいの方が聞いてくれるのか？どれくらい効果があるか？を考えながら実施しています。町ゆく人の反応は様々ですが、必ず一人ひとりの心に響いていると信じて活動しています。

そして地域での活動を進めるなかで、地協相互の連携がとても重要だということも感じています。各地協の幹事会にも参加することがあるのですが、地協毎に悩みや課題はそれぞれあります。しかし横の連携を取ることで解決できることが多くあるのも事実。これからも地協の身近なパイプ役として少しでもお役に立てればと思っています。

(峯崎)